

今週のモーニングセミナー報告

令和4年11月30日（水）の講話 <第919回>

テーマ：50歳からの人生戦略

講師：香川県高松南倫理法人会 会員 (株)アカデミック高松 代表取締役 赤池 泰弘 様

<50歳からの人生戦略>と題して、100年時代、まず日本人の平均寿命は男・81.4歳。女・87.5歳。ちなみに世界一。健康寿命は74.1歳。自身の人生を振り返ると学生時代はサッカーばかりしていた。尾崎豊のファンで県外の大学生生活。20歳の時がどん底だった。何のために働くのだろうか？生きる意味が分からず放浪。20歳の誕生日、バイクに乗り舞鶴から北海道へ学校が始まっても釧路にいました。結局就職もせずアルバイト生活、キリスト教の講話に出て「人は生きるのではなく、生かされている」深く心に残る。結婚・一人娘が生まれ、30歳のころ塾講師、ノルマが厳しくて塾に寝泊まりする日々。妻も育児で大変な時期。ある日妻からの電話で大変な事態に、近所の人に一緒に探してもらい橋の上で妻と娘を見つけた。自身が娘さんを引きとり、妻は実家に帰り、両親は健康だったが妻は旅立った。この時が一番きつかった。35歳の時塾独立、パソコン教室開催。3年で生徒は来なくなった。個別指導塾の講師となり9年半勤務。(充電期・復活期)そして、細井香さんの誘いで倫理法人会に出席。45歳のころフランチャイズ独立支援制度で円座に塾スタート。(FC個別指導塾)元気な声であいさつ。名前で呼ぶ。7年間はトイレ掃除。小さい自信をつける。夢を一緒に考える。卒業して塾が必要で無くなった大学生も来ている。生徒数14名が最高でした。その後事業を譲渡。林住期(50~75歳)のビジョン。世界を知り日本をそして自分自身を見つめる。①外国人との懸け橋になる(日本語教室の非常勤講師)②草の根からの教育。オランダの教育の話。③カンボジアの教育支援活動。読み聞かせの会では、「子供たちの目、その目の輝きが違う。」人間として大切なことを教えてもらう最も充実した期間。(モットー)動かなければ始まらない。インドへの旅の経験から死んだ後の灰は、その川に流してほしいと、人生の終末の希望を熱意をもって語っていただきました。

担当者：赤山 芳隆

「50歳からの人生戦略」というテーマで講話をしていただきました。現在の日本は84歳の平均寿命。赤池さんは20歳のころ生きる意味が分からなく放浪していた。30歳代では娘も生まれ子育てについて話されました。その後、個人塾を開業して廃業した事。塾講師として勤務した後、もう一度独立して生徒数を増やしていく。その時に子供に名前を呼んで大きな声であいさつすることを実践する。その後、塾を譲渡する。様々な経験をしていると感じました。50歳からは外国人との懸け橋になりたい気持ちから、日本語教師をしてベトナム人、ネパール人に日本語を教える。カンボジアの学校支援活動の動画も見せていただきました。赤池さんがカンボジアの子供たちと元気に仲良くしている動画でした。赤池さんはカンボジアの子供たちの目の輝きが違うと話されました。また、カンボジアの子供たちの目の輝きについて話す赤池さんの目の輝きも夢に満ちあふれているなあと思いました。私も現在46歳、自分の人生をどう過ごしたいかを考えて行動していきたいと思いました。講話ありがとうございました。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは12月7日（水）朝6:00~7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「2024年新紙幣になる渋沢栄一の論語と算盤」と題しましてSae株式会社 代表取締役(一社)青少年健全育成協会 理事 岡田さえ 様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 18社 18名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp